

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2021年4月19日まで（2013年6月17日設定）	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP TRY） - JPY 分配型の投資信託証券への投資を通じて、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行い、値上がり益の獲得をめざします。また、当該外国投資信託への投資を通じて、原資産通貨からトルコリラに対して為替取引を行います（このため、基準価額はトルコリラの対円で為替変動の影響を受けます。）。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資信託証券への運用の指図に関する権限は、ピクテ投信投資顧問株式会社に委託します。	
主要運用対象	ピクテ・グローバル・インカム株式オープン通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP TRY） - JPY 分配型およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドー グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP TRY） - JPY 分配型	新興国を含む世界の高配当利回りの公益株を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> （毎月分配型）



第35期（決算日：2016年5月18日）
 第36期（決算日：2016年6月20日）
 第37期（決算日：2016年7月19日）
 第38期（決算日：2016年8月18日）
 第39期（決算日：2016年9月20日）
 第40期（決算日：2016年10月18日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）」は、去る10月18日に第40期の決算を行いましたので、法令に基づいて第35期～第40期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)のご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	7
◇1万口当たりの費用明細	8
◇売買及び取引の状況	9
◇利害関係人との取引状況等	9
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	9
◇組入資産の明細	9
◇投資信託財産の構成	10
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	10
◇損益の状況	11
◇分配金のお知らせ	12
◇お知らせ	12

投資対象ファンドのご報告

◇ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — グローバル・ユーティリティーズ・ エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP TRY) - JPY 分配型	14
◇マネー・マーケット・マザーファンド	20

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			債組入率	債券先物比率	投資信託組入率	純資産総額
		税金	込配	み騰落				
	円	円	円	%	%	%	百万円	
11期(2014年5月19日)	10,510		70	2.5	0.1	—	98.1	27
12期(2014年6月18日)	10,699		70	2.5	0.1	—	98.7	25
13期(2014年7月18日)	10,643		70	0.1	0.1	—	98.8	26
14期(2014年8月18日)	10,333		70	△ 2.3	0.1	—	98.0	25
15期(2014年9月18日)	10,906		70	6.2	0.1	—	98.7	27
16期(2014年10月20日)	9,954		70	△ 8.1	0.1	—	97.9	25
17期(2014年11月18日)	11,560		70	16.8	0.1	—	98.8	29
18期(2014年12月18日)	10,652		70	△ 7.2	0.0	—	98.6	32
19期(2015年1月19日)	11,165		70	5.5	0.0	—	98.7	35
20期(2015年2月18日)	10,877		70	△ 2.0	0.1	—	98.8	34
21期(2015年3月18日)	10,308		70	△ 4.6	0.1	—	98.8	33
22期(2015年4月20日)	10,138		70	△ 1.0	0.1	—	98.7	32
23期(2015年5月18日)	10,509		70	4.3	0.1	—	98.8	33
24期(2015年6月18日)	9,931		70	△ 4.8	0.1	—	98.7	31
25期(2015年7月21日)	10,473		70	6.2	0.1	—	98.8	33
26期(2015年8月18日)	9,727		70	△ 6.5	0.1	—	98.7	31
27期(2015年9月18日)	8,301		70	△ 13.9	0.1	—	98.8	26
28期(2015年10月19日)	8,911		70	8.2	0.1	—	98.8	27
29期(2015年11月18日)	9,098		70	2.9	0.1	—	98.8	28
30期(2015年12月18日)	8,734		70	△ 3.2	0.1	—	98.8	27
31期(2016年1月18日)	7,894		70	△ 8.8	0.1	—	98.7	24
32期(2016年2月18日)	8,138		70	4.0	0.0	—	98.7	25
33期(2016年3月18日)	8,618		70	6.8	0.1	—	98.7	26
34期(2016年4月18日)	8,512		70	△ 0.4	0.1	—	98.6	26
35期(2016年5月18日)	8,223		70	△ 2.6	0.0	—	98.8	25
36期(2016年6月20日)	7,933		70	△ 2.7	0.0	—	98.7	24
37期(2016年7月19日)	8,517		70	8.2	0.0	—	98.6	26
38期(2016年8月18日)	7,711		70	△ 8.6	0.0	—	98.9	23
39期(2016年9月20日)	7,553		70	△ 1.1	0.0	—	98.8	24
40期(2016年10月18日)	7,294		70	△ 2.5	0.0	—	98.8	23

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ(マネープールファンドを除く)は、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行うとともに、原資産通貨から各ファンドの対象通貨に対して為替取引を行うことで、信託財産の成長をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第35期	(期 首)	円		%	%	%	%
	2016年4月18日	8,512	—	—	0.1	—	98.6
	4月末	8,785	3.2	—	0.0	—	98.6
第36期	(期 末)						
	2016年5月18日	8,223	—	—	0.0	—	98.8
	5月末	8,317	1.1	—	0.0	—	99.0
第37期	(期 首)						
	2016年6月20日	8,003	△2.7	—	0.0	—	98.7
	6月末	8,083	1.9	—	0.0	—	98.8
第38期	(期 末)						
	2016年7月19日	8,587	8.2	—	0.0	—	98.6
	7月末	8,517	—	—	0.0	—	98.6
第39期	(期 首)						
	2016年7月19日	8,089	△5.0	—	0.0	—	98.6
	7月末	8,089	△5.0	—	0.0	—	98.6
第40期	(期 末)						
	2016年8月18日	7,781	△8.6	—	0.0	—	98.9
	8月末	7,711	—	—	0.0	—	98.9
第41期	(期 首)						
	2016年8月18日	7,778	0.9	—	0.0	—	98.7
	8月末	7,778	0.9	—	0.0	—	98.7
第42期	(期 末)						
	2016年9月20日	7,623	△1.1	—	0.0	—	98.8
	9月末	7,623	△1.1	—	0.0	—	98.8
第43期	(期 首)						
	2016年9月20日	7,553	—	—	0.0	—	98.8
	9月末	7,635	1.1	—	0.0	—	98.7
第44期	(期 末)						
	2016年10月18日	7,364	△2.5	—	0.0	—	98.8

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

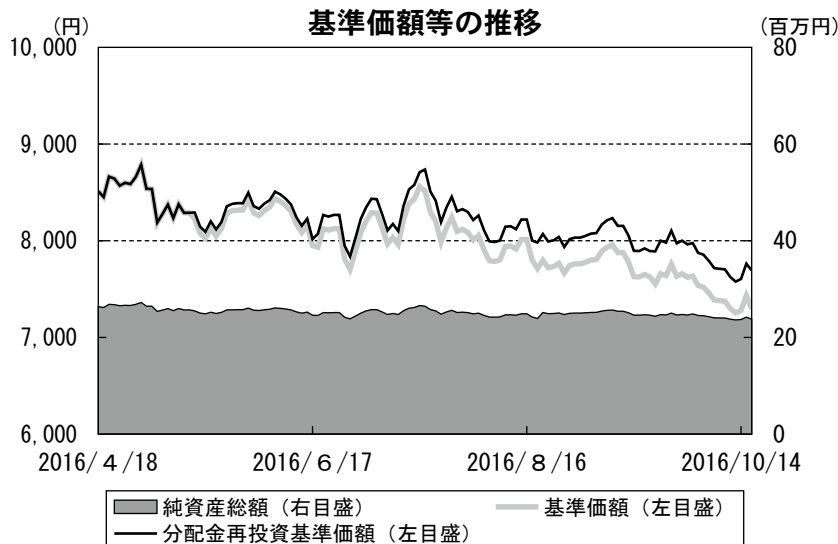
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第35期～第40期：2016/4/19～2016/10/18)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ9.6% (分配金再投資ベース) の下落となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

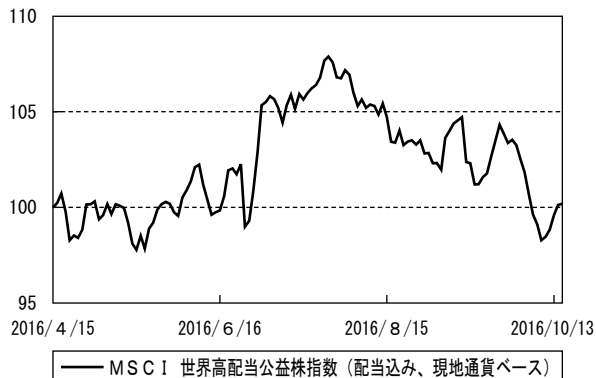
基準価額の主な変動要因

上昇要因	投資した株式の通貨(以下、原資産通貨)に対するトルコリラ買いの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	トルコリラが対円で下落したことに加え、保有している公益株式が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第35期～第40期：2016/4/19～2016/10/18)

(ご参考) 株式市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

(注) MSCI 世界高配当公益株指数は、世界の公益株の中から、相対的に配当利回りの高い銘柄で構成される指数であり、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

為替市況の推移 (当作成期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・グローバル株式市況は、当作成期首から2016年6月半ばにかけて、原油価格の上昇や米利上げ観測の後退を受けて堅調に推移しました。6月後半には、英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱派が勝利したことを背景に大幅下落したものの、グローバル経済への影響は限定的なものにとどまるとの見方が広がり株価は上昇に転じました。
- ・その後は米国景気に対する明るい見通しやFOMC（米連邦公開市場委員会）で追加利上げの見送りが決定されたことなどが好感され堅調に推移しましたが、公益株市況は下落しました。

◎為替市況

- ・日銀の追加金融緩和の見送りや英国のEU離脱選択に加え、クーデター未遂事件の発生などがトルコリラ安の要因となり、当作成期を通じて見ると、トルコリラは対円で下落しました。

◎国内短期金融市場

- ・ 当作成期の短期金融市場を見ると、日銀は2016年9月の金融政策決定会合で金融市場調整方針を、マネタリーベースの年間約80兆円に相当するペースでの増加から、長短金利の操作に変更する決定をしました。コール・レート（無担保・翌日物）は、2016年1月末に日銀が「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」で決定した-0.1%金利の適用開始以降であることから、マイナス圏で推移しました。10月18日のコール・レートは-0.045%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型) >

- ・ 主としてピクテ社の運用する円建て外国投資信託であるピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP TRY) - JPY 分配型への投資を通じて、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。
- ・ 当作成期は、為替取引によるプレミアムを享受したものの、トルコリラが対円で下落したことに加え、保有している公益株式が下落したことなどから、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

<ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP TRY) - JPY 分配型>
基準価額は当作成期首に比べ9.1%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

- ・ トルコリラが対円で下落したことが、マイナス要因となりました。
- ・ 保有外貨建て資産において、原資産通貨に対するトルコリラ買いの為替取引を行いました。
- ・ 財務体質が健全であり、持続的な力強いキャッシュフロー創出力により配当利回りが高く、成長性が高いと見られる銘柄を組み入れる運用を行いました。組入比率は高位を維持しました。
- ・ 個別銘柄では、英国のEU離脱決定が嫌気された英国事業の比率の高い「PPL」（米国・電力）や「CENTRICA」（英国・総合公益事業）などが下落しました。

◎為替取引によるプレミアム／為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）

- ・ トルコリラの短期金利は原資産通貨の短期金利に対して概ね高位で推移したため、これらの通貨間の金利差を背景とした為替取引によるプレミアムは、概ね基準価額に対する上昇要因となりました。なお、原資産通貨の短期金利が概ね低下したのに対して、トルコリラの短期金利は相対的に大きく低下したため、トルコリラと原資産通貨の為替取引における短期金利差は縮小しました。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。

- ・残存期間の短い国債や社債などを組み入れつつ、コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益が積み上がったことなどから、基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ（マネープールファンドを除く）は、世界の高配当利回りの公益株に実質的な投資を行うとともに、原資産通貨から各ファンドの対象通貨に対して為替取引を行うことで、信託財産の成長をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月18日
当期分配金	70	70	70	70	70	70
(対基準価額比率)	0.844%	0.875%	0.815%	0.900%	0.918%	0.951%
当期の収益	70	70	70	70	70	70
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,139	3,151	3,172	3,185	3,198	3,213

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<ピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型) >

◎今後の運用方針

- ・主としてピクテ社の運用する円建て外国投資信託への投資を通じて世界の高配当利回りの公益株に投資を行い値上がり益の獲得をめざします。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行います。

<ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド — グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP TRY) - JPY 分配型>

◎運用環境の見通し

- ・中長期的には、電力などの需要拡大や価格上昇が予想されており、世界の公益セクターの事業環境は良好との見方に変更はありません。ただし、短期的には、中国の景気減速懸念と政策動向、米国の利上げペースや英国のEU離脱交渉、日欧の金融政策を巡る不透明感などから株式市況は不安定な動きとなると考えています。

◎今後の運用方針

- ・ポートフォリオにおいては、財務体質が健全で、持続的な力強いキャッシュフロー創出力により配当利回りが高い銘柄の組み入れを継続する方針です。組み入れにあたっては、バリュエーション面を考慮しながら、中長期的に成長性が高いと見られる企業などに引き続き注目しています。
- ・なお、保有外貨建て資産については、原資産通貨に対するトルコリラ買いの為替取引を行います。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・為替が円高に推移したことなどを受けて、物価の伸びは日銀の目標を大幅に下回っています。したがって、デフレ脱却に向けて日銀は金融緩和政策を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になるものと予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、コール・ローン等短期金融商品や残存期間の短い社債などへの投資を通じて、安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年4月19日～2016年10月18日)

項 目	第35期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(26)	(0.321)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.321)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	54	0.665	
作成期中の平均基準価額は、8,114円です。			

(注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月19日～2016年10月18日)

投資信託証券

銘柄		第35期～第40期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP TRY) - JPY 分配型	千口 0.2761	千円 1,609	千口 0.0094	千円 60

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月19日～2016年10月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 20	百万円 —	百万円 —	百万円 20	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年10月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第34期末	第40期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド (HP TRY) - JPY 分配型	4	4	23,455	98.8
	合計	4	4	23,455	98.8

(注) 比率はピクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型) の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄	第34期末		第40期末	
	口数		口数	
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 19		千口 19	
			千円 20	

○投資信託財産の構成

(2016年10月18日現在)

項目	第40期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 23,455	% 97.4
マネー・マーケット・マザーファンド	20	0.1
コール・ローン等、その他	607	2.5
投資信託財産総額	24,082	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第35期末	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末
	2016年5月18日現在	2016年6月20日現在	2016年7月19日現在	2016年8月18日現在	2016年9月20日現在	2016年10月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	25,802,476	24,842,972	26,700,562	24,300,724	24,695,841	24,082,712
コール・ローン等	605,439	588,007	586,352	630,858	606,874	607,357
投資信託受益証券(評価額)	25,177,020	24,234,946	26,094,191	23,649,849	24,068,948	23,455,336
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	20,017	20,019	20,019	20,017	20,019	20,019
(B) 負債	314,186	297,437	244,443	393,142	326,199	332,976
未払金	60,000	50,000	—	100,000	69,999	80,000
未払収益分配金	216,981	216,580	217,446	217,035	225,852	227,922
未払解約金	8,095	—	—	48,681	—	—
未払信託報酬	29,044	30,791	26,938	27,366	30,282	24,998
未払利息	1	—	—	—	—	—
その他未払費用	65	66	59	60	66	56
(C) 純資産総額(A-B)	25,488,290	24,545,535	26,456,119	23,907,582	24,369,642	23,749,736
元本	30,997,377	30,940,102	31,063,811	31,005,047	32,264,685	32,560,315
次期繰越損益金	△ 5,509,087	△ 6,394,567	△ 4,607,692	△ 7,097,465	△ 7,895,043	△ 8,810,579
(D) 受益権総口数	30,997,377口	30,940,102口	31,063,811口	31,005,047口	32,264,685口	32,560,315口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,223円	7,933円	8,517円	7,711円	7,553円	7,294円

○損益の状況

項 目	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	283,448	284,237	285,848	285,329	297,852	301,181
受取配当金	283,456	284,238	285,852	285,331	297,859	301,182
支払利息	△ 8	△ 1	△ 4	△ 2	△ 7	△ 1
(B) 有価証券売買損益	△ 934,979	△ 932,458	1,769,245	△ 2,539,356	△ 550,898	△ 893,611
売買益	212	1,496	1,769,245	4,987	2	-
売買損	△ 935,191	△ 933,954	-	△ 2,544,343	△ 550,900	△ 893,611
(C) 信託報酬等	△ 29,109	△ 30,857	△ 26,997	△ 27,426	△ 30,348	△ 25,054
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 680,640	△ 679,078	2,028,096	△ 2,281,453	△ 283,394	△ 617,484
(E) 前期繰越損益金	△ 5,738,214	△ 6,622,672	△ 7,518,330	△ 5,696,215	△ 8,194,703	△ 8,703,949
(F) 追加信託差損益金	1,126,748	1,123,763	1,099,988	1,097,238	808,906	738,776
(配当等相当額)	(1,901,351)	(1,898,903)	(1,937,893)	(1,935,152)	(2,336,431)	(2,430,989)
(売買損益相当額)	(△ 774,603)	(△ 775,140)	(△ 837,905)	(△ 837,914)	(△ 1,527,525)	(△ 1,692,213)
(G) 計(D+E+F)	△ 5,292,106	△ 6,177,987	△ 4,390,246	△ 6,880,430	△ 7,669,191	△ 8,582,657
(H) 収益分配金	△ 216,981	△ 216,580	△ 217,446	△ 217,035	△ 225,852	△ 227,922
次期繰越損益金(G+H)	△ 5,509,087	△ 6,394,567	△ 4,607,692	△ 7,097,465	△ 7,895,043	△ 8,810,579
追加信託差損益金	1,126,748	1,123,763	1,099,988	1,097,238	808,906	738,776
(配当等相当額)	(1,901,351)	(1,898,903)	(1,937,893)	(1,935,152)	(2,336,431)	(2,430,989)
(売買損益相当額)	(△ 774,603)	(△ 775,140)	(△ 837,905)	(△ 837,914)	(△ 1,527,525)	(△ 1,692,213)
分配準備積立金	7,831,021	7,852,286	7,916,933	7,941,899	7,983,551	8,031,756
繰越損益金	△14,466,856	△15,370,616	△13,624,613	△16,136,602	△16,687,500	△17,581,111

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 30,979,630円
 作成期中追加設定元本額 1,714,253円
 作成期中一部解約元本額 133,568円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.7294円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,810,579円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2016年4月19日～ 2016年5月18日	2016年5月19日～ 2016年6月20日	2016年6月21日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月18日	2016年8月19日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月18日
費用控除後の配当等収益額	254,340円	253,380円	282,093円	257,903円	267,504円	276,127円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円	-円	-円	-円	-円	-円
収益調整金額	1,901,351円	1,898,903円	1,937,893円	1,935,152円	2,336,431円	2,430,989円
分配準備積立金額	7,793,662円	7,815,486円	7,852,286円	7,901,031円	7,941,899円	7,983,551円
当ファンドの分配対象収益額	9,949,353円	9,967,769円	10,072,272円	10,094,086円	10,545,834円	10,690,667円
1万口当たり収益分配対象額	3,209円	3,221円	3,242円	3,255円	3,268円	3,283円
1万口当たり分配金額	70円	70円	70円	70円	70円	70円
収益分配金総額	216,981円	216,580円	217,446円	217,035円	225,852円	227,922円

④ 信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の25の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

	第35期	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期
1 万口当たり分配金 (税込み)	70円	70円	70円	70円	70円	70円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2016年10月18日現在)

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(5,060,029千円)の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第40期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普通社債券	1,077,900 (1,077,900)	1,080,076 (1,080,076)	21.0 (21.0)	— (—)	— (—)	— (—)	21.0 (21.0)
合 計	1,077,900 (1,077,900)	1,080,076 (1,080,076)	21.0 (21.0)	— (—)	— (—)	— (—)	21.0 (21.0)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第40期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券	%	千円	千円	
第300回北陸電力	0.5	177,900	177,951	2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	200,584	2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,056	2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,090	2016/12/2
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,003	2016/12/2
第113回オリックス	2.19	100,000	101,099	2017/4/18
第156回オリックス	1.14	100,000	100,293	2017/1/27
合 計		1,077,900	1,080,076	

国内その他有価証券

区 分	第40期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 3,799,996	% 73.7

(注) 比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド（HP TRY） - JPY 分配型	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主として新興国を含む世界の高配当利回りの公益株に投資し、安定的な収益分配を行いつつ、長期的な元本の成長をめざすことを目的として運用を行います。原則として、電力、ガス、水道、電話、通信、運輸、廃棄物処理、石油供給等の上場企業の株式に分散投資します。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	新興国を含む世界の高配当利回りの公益株	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一発行体の発行済証券数の10%を超える証券を保有しません。 ・取得時において同一発行体の発行済証券数の5%を超える証券を保有しません。 ・ヘッジ目的に限らずデリバティブ取引を行うことができます。 ・保有資産に対し、原則として、トルコリラ買いの為替取引を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決算日	原則として毎年12月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として毎月、配当等収益および売買益より分配を行う方針です。ただし、適正な分配水準を維持するために必要と認められる場合は、分配原資をこれらに限定しません。なお、分配を行わないこともあります。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

損益計算書および純資産変動計算書、投資有価証券明細表はPictet Global Selection Fund Annual Report, including audited financial statements, as at December 31, 2015版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、各通貨毎のクラス分けされたものがないため、クラスを合算したサブファンド（ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド）で掲載しています。

(1) 損益計算書

(A) ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド

(2015年1月1日～2015年12月31日)

	ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド - グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・ カレンシー・ヘッジド・ファンド	米ドル
期首現在の純資産		68,344,929.42
収益		
配当金、正味		2,033,101.95
債券利子、正味		0.00
預金利息		1,011.61
		<u>2,034,113.56</u>
費用		
管理報酬および投資顧問料		210,376.56
預託手数料、銀行手数料、および金利		466,958.36
管理事務費用、サービス報酬、監査費用およびその他の費用		74,713.68
未払年次税		5,514.76
取引手数料		175,061.63
		<u>932,624.99</u>
投資純利益／(損失)		1,101,488.57
投資商品の販売に対する純実現利益／(損失)		1,662,362.96
外国為替の正味実現利益／(損失)		501,997.53
先物為替予約の正味実現利益／(損失)		(3,786,206.02)
先物為替予約での純未実現利益／(損失)		0.00
実現純利益／(損失)		(520,356.96)
正味未実現増価／(減価)の変化：		
- 投資		(1,783,646.93)
- 為替予約契約		(143,770.27)
運用の結果としての正味資産の増加／(減少)		(2,447,774.16)
受益証券発行手取額		66,059,524.65
受益証券買戻費用		(64,663,160.48)
分配金の支払		(11,651,793.58)
再評価差額*		(10,819,259.28)
期末現在の純資産		44,822,466.57

*上記の差額は、サブファンドの通貨以外の通貨建ての銘柄をサブファンドの通貨に換算する際に使用する為替レートの変動によるもので、2014年12月31日から2015年12月31日までを対象としています。

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

25頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 純資産変動計算書

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンドーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・
カレンシー・ヘッジド・ファンド

(2015年1月1日～2015年12月31日)

ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド
ーグローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・
カレンシー・ヘッジド・ファンド

米ドル

資産

投資有価証券取得原価	43,383,586.01
投資にかかる未実現純利益／損失	(43,223.98)
時価での証券投資	<u>43,340,362.03</u>

現金預金	4,787,377.58
預金	0.00
純受け取り配当金	0.00
未収利益、純額	0.00
先物為替予約取引での純未実現利益	0.00
	<u>48,127,739.61</u>

負債

当座借越	3,267,651.82
管理報酬および投資顧問料	12,839.39
未払年次税	1,114.98
先物為替予約取引での純未実現損失	14,495.76
その他の未払報酬	9,171.09
	<u>3,305,273.04</u>

2015年12月31日現在の純資産合計 **44,822,466.57**

2014年12月31日現在の純資産合計 **68,344,929.42**

2013年12月31日現在の純資産合計 **127,782,417.56**

(3) 投資有価証券明細表

(A) ピクテ・グローバル・セレクション・ファンド・グローバル・ユーティリティーズ・エクイティ・カレンシー・ヘッジド・ファンド

(2015年12月31日現在)

銘柄	保有数	時価 (単位：米ドル)	純資産に対する比率 %
公式に株式上場している、または別の統制市場で処理されている譲渡可能証券			
株式			
<i>オーストラリア</i>			
APA GROUP	85,168.00	539,214.74	1.20
		539,214.74	1.20
<i>バミューダ</i>			
CHEUNG KONG INFRASTRUCTURE HOLDING	62,000.00	574,786.07	1.28
		574,786.07	1.28
<i>ブラジル</i>			
TRACTEBEL ENERGIA	28,600.00	249,037.04	0.56
		249,037.04	0.56
<i>カナダ</i>			
BCE	12,592.00	495,274.23	1.10
PEMBINA PIPELINE	1,976.00	43,290.67	0.10
		538,564.90	1.20
<i>チリ</i>			
ENDESA	402,435.00	498,347.66	1.11
		498,347.66	1.11
<i>フランス</i>			
ENGIE	30,915.00	556,985.17	1.24
SUEZ ENVIRONNEMENT COMPANY	17,304.00	331,133.15	0.74
VEOLIA ENVIRONNEMENT	21,438.00	519,125.08	1.16
		1,407,243.40	3.14
<i>ドイツ</i>			
DEUTSCHE TELEKOM REG. E.ON	19,906.00	362,879.46	0.81
	69,067.00	673,740.63	1.50
		1,036,620.09	2.31
<i>香港</i>			
CLP HOLDINGS	79,000.00	670,209.56	1.50
POWER ASSETS HOLDING	108,000.00	984,518.08	2.20
		1,654,727.64	3.70
<i>インドネシア</i>			
PERUSAHAAN GAS NEGARA 'B'	2,057,100.00	409,728.58	0.91
		409,728.58	0.91
<i>イスラエル</i>			
BEZEQ ISRAEL TELECOMMUNICATION	162,353.00	349,054.50	0.78
		349,054.50	0.78

銘柄	保有数	時価 (単位：米ドル)	純資産に対する比率 %
<i>イタリア</i>			
ATLANTIA	8,311.00	223,038.84	0.50
ENEL	333,580.00	1,423,890.57	3.18
SNAM	185,226.00	981,218.53	2.19
TERNA RETE ELETTRICA NAZIONALE	128,444.00	672,283.86	1.50
		3,300,431.80	7.37
<i>日本</i>			
KANSAI ELECTRIC POWER	19,600.00	237,494.28	0.53
KDDI CORP	27,200.00	712,235.45	1.59
NIPPON TELEGRAPH & TELEPHONE	26,600.00	1,067,974.59	2.38
SHIKOKU ELECTRIC POWER	16,100.00	253,964.18	0.57
		2,271,668.50	5.07
<i>ルクセンブルグ</i>			
SES GLOBAL FDR	11.00	311.42	0.00
		311.42	0.00
<i>オランダ</i>			
KONINKLIJKE KPN NV	146,411.00	559,071.29	1.25
		559,071.29	1.25
<i>ポルトガル</i>			
EDP - ENERGIAS DE PORTUGAL	155,431.00	558,541.69	1.25
		558,541.69	1.25
<i>韓国</i>			
KOREA ELECTRIC POWER	12,848.00	547,864.36	1.22
		547,864.36	1.22
<i>スペイン</i>			
ENDESA	17,441.00	358,519.72	0.80
IBERDROLA	220,356.00	1,583,699.67	3.52
RED ELECTRICA	10,635.00	903,382.44	2.02
		2,845,601.83	6.34
<i>スイス</i>			
SWISSCOM	377.00	191,478.77	0.43
		191,478.77	0.43
<i>タイ</i>			
ADVANCED INFO SERVICE -FGN-	133,900.00	565,591.23	1.26
INTOUCH HOLDINGS -NVDR-	357,958.00	517,265.98	1.15
		1,082,857.21	2.41

銘柄	保有数	時価 (単位：米ドル)	純資産に対する比率 %
<i>イギリス</i>			
INMARSAT	21,002.00	354,489.42	0.79
NATIONAL GRID	100,500.00	1,417,375.85	3.16
SEVERN TRENT	13,686.00	447,202.30	1.00
UNITED UTILITIES GROUP	35,976.00	504,872.54	1.13
VODAFONE GROUP	112,725.00	362,575.90	0.81
		3,086,516.01	6.89
<i>アメリカ合衆国</i>			
ALLIANT ENERGY	6,746.00	427,763.86	0.95
AMEREN CORPORATION	11,551.00	510,669.71	1.14
AMERICAN ELECTRIC POWER	19,900.00	1,171,314.00	2.61
AMERICAN WATER WORKS	9,584.00	582,323.84	1.30
CENTERPOINT ENERGY	11,507.00	212,246.62	0.47
CMS ENERGY	18,112.00	663,985.92	1.48
DOMINION RESOURCES	24,547.00	1,687,851.72	3.76
DTE ENERGY	8,365.00	682,500.35	1.52
DUKE ENERGY	20,869.00	1,509,663.46	3.36
EDISON INTERNATIONAL	14,587.00	886,597.86	1.98
ENTERGY	10,340.00	716,562.00	1.60
EVERSOURCE ENERGY	13,959.00	725,588.82	1.62
EXELON	30,688.00	856,502.08	1.91
FIRSTENERGY	13,920.00	453,652.80	1.01
ITC HOLDINGS	5,975.00	233,144.50	0.52
NEXTERA ENERGY	18,169.00	1,902,475.99	4.23
NISOURCE	14,721.00	291,181.38	0.65
OG E ENERGY	6,784.00	181,946.88	0.41
PG & E	20,632.00	1,118,460.72	2.50
PINNACLE WEST CAPITAL	5,679.00	370,611.54	0.83
PPL	28,533.00	980,108.55	2.19
PUBLIC SERVICE ENTERPRISE GROUP	22,974.00	897,134.70	2.00
SEMPRA ENERGY	10,248.00	983,910.48	2.20
SOUTHERN COMPANY	19,367.00	916,833.78	2.05
VENTAS	8,216.00	464,286.16	1.04
WEC ENERGY GROUP	16,955.00	886,407.40	1.98
WELLTOWER	6,822.00	466,420.14	1.04
XCEL ENERGY	23,593.00	858,549.27	1.92
		21,638,694.53	48.27
投資有価証券合計		43,340,362.03	96.69
現金預金		4,787,377.58	10.68
当座借越		(3,267,651.82)	(7.29)
その他の純負債		(37,621.22)	(0.08)
純資産合計		44,822,466.57	100.00

(B) マネー・マーケット・マザーファンド
23頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第23期》決算日2016年5月20日

[計算期間：2015年11月21日～2016年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産総額
19期(2014年5月20日)	10,180	0.0	84.7	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183	0.0	84.3	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183	0.0	89.3	—	1,959
22期(2015年11月20日)	10,185	0.0	91.2	—	27,834
23期(2016年5月20日)	10,183	△0.0	39.0	—	5,562

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首) 2015年11月20日	10,185	—	91.2	—	—
11月末	10,184	△0.0	59.9	—	—
12月末	10,183	△0.0	93.0	—	—
2016年1月末	10,183	△0.0	98.5	—	—
2月末	10,183	△0.0	50.5	—	—
3月末	10,182	△0.0	68.5	—	—
4月末	10,183	△0.0	67.0	—	—
(期末) 2016年5月20日	10,183	△0.0	39.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

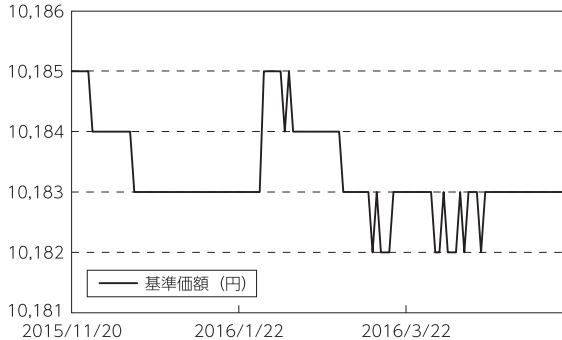
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の下落となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀はマネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。2016年1月末に日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定し、日銀当座預金のうち政策金利残高に適用する金利を-0.1%としました。コール・レート(無担保・翌日物)は、当該金利にさや寄せする形でプラス圏から段階的に低下し、5月20日のコール・レートは-0.053%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債や社債などを組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は獲得したものの、組入債券の一部が小幅に下落したことなどから基準価額は下落しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「マイナス金利付き量的・質的金融緩和策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位での推移になるものと予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い社債などに投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2015年11月21日～2016年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年11月21日～2016年5月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 3,120,795	千円 20,330,370 (7,992,600)
	特殊債券	601,257	— (200,000)
	社債券	1,586,979	—

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 68,999,961	千円 65,999,968

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月21日～2016年5月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 4,809	百万円 —	% —	百万円 19,830	百万円 1,999	% 10.1

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年5月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	183,750	183,838	3.3	—	—	—	3.3
金融債券	400,000 (400,000)	400,320 (400,320)	7.2 (7.2)	— (—)	— (—)	— (—)	7.2 (7.2)
普通社債券	1,577,900 (1,577,900)	1,584,386 (1,584,386)	28.5 (28.5)	— (—)	— (—)	— (—)	28.5 (28.5)
合 計	2,161,650 (1,977,900)	2,168,544 (1,984,706)	39.0 (35.7)	— (—)	— (—)	— (—)	39.0 (35.7)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期		末		償還年月日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	比 率	
国債証券	%	千円	千円		
第342回利付国債(2年)	0.1	100,000	100,037		2016/7/15
第343回利付国債(2年)	0.1	83,750	83,801		2016/8/15
小 計		183,750	183,838		
金融債券					
い第735号商工債券	0.4	300,000	300,312		2016/8/26
い第732号農林債券	0.6	100,000	100,008		2016/5/27
小 計		400,000	400,320		
普通社債券					
第490回関西電力	0.718	100,000	100,049		2016/6/20
第355回中国電力	1.52	200,000	200,774		2016/8/25
第300回北陸電力	0.5	177,900	178,362		2016/11/30
第459回東北電力	0.869	200,000	201,192		2017/2/24
第282回四国電力	0.35	200,000	200,320		2016/12/22
第3回コニカミノルタホールディングス	0.61	200,000	200,640		2016/12/2
第17回ニコン	1.65	100,000	100,139		2016/6/23
第3回興銀リース	0.267	100,000	100,135		2016/12/2
第113回オリックス	2.19	100,000	101,906		2017/4/18
第156回オリックス	1.14	100,000	100,705		2017/1/27
第17回電源開発	2.07	100,000	100,164		2016/6/20
小 計		1,577,900	1,584,386		
合 計		2,161,650	2,168,544		

国内その他有価証券

区 分	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,999,995	% 53.9		

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2016年5月20日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,168,544	% 39.0		
その他有価証券	2,999,995	53.9		
コール・ローン等、その他	394,603	7.1		
投資信託財産総額	5,563,142	100.0		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年5月20日現在)

項目	当期末
(A) 資産	5,563,142,682
コール・ローン等	389,098,836
公社債(評価額)	2,168,544,627
その他有価証券(評価額)	2,999,995,107
未収利息	3,637,299
前払費用	1,866,813
(B) 負債	672,118
未払解約金	670,530
未払利息	633
その他未払費用	955
(C) 純資産総額(A-B)	5,562,470,564
元本	5,462,308,836
次期繰越損益金	100,161,728
(D) 受益権総口数	5,462,308,836口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

<注記事項>

- ①期首元本額 27,329,169,583円
 期中追加設定元本額 1,544,863,883円
 期中一部解約元本額 23,411,724,630円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	249,380,519円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	8,898,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,628,029円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	47,179,877円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	94,134,350円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	233,263円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	4,757,576円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	334,011,007円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,042円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	23,960,741円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	457,302円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	383,682円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	6,363,253円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	13,745,897円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	3,037,917円

○損益の状況 (2015年11月21日~2016年5月20日)

項目	当期
(A) 配当等収益	4,329,010
受取利息	4,361,071
支払利息	△ 32,061
(B) 有価証券売買損益	△ 5,334,236
売買益	191,600
売買損	△ 5,525,836
(C) 保管費用等	△ 955
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,006,181
(E) 前期繰越損益金	504,860,995
(F) 追加信託差損益金	28,297,685
(G) 解約差損益金	△431,990,771
(H) 計(D+E+F+G)	100,161,728
次期繰越損益金(H)	100,161,728

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	1,970,066円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	217,654円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)	407,171円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	24,781,723円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	2,221,253円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	945,824円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,576,702円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	3,491,872円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	47,026,508円
欧州ハイイールド債券ファンド	(為替ヘッジあり)	1,285,463円
欧州ハイイールド債券ファンド	(為替ヘッジなし)	1,147,224円
新興国ハイイールド債券ファンド	(為替ヘッジあり)	1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド	(為替ヘッジなし)	10,884円
三菱UFJ	米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ	米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	20,181,510円
PIMCO	ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	109,209円
PIMCO	ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	158,381円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	20,660円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	40,278円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	955,887円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	442,974円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュール・ボンド・ファンド	<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュール・ボンド・ファンド	<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュール・ボンド・ファンド	<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュール・ボンド・ファンド	<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,834,580円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	2,347,787円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	163,666円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	3,908,079円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	581,687円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	978,045円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	979,977円
三菱UFJ	/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円

三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 859, 081円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1, 168, 184円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2, 065, 331円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン C コース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン D コース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UF J / UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982, 608円
三菱UF J / ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256, 356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2, 827, 156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9, 387, 547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3, 545, 187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 124, 755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2, 990, 177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3, 377, 211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	357, 495円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168, 922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	3, 874, 252円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	6, 588, 018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9, 991, 470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1, 616, 484円
三菱UF J / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25, 537, 767円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42, 906, 470円
三菱UF J 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8, 585, 548円
N a v i o インド債券ファンド	885, 566円
N a v i o マネーボールファンド	1, 561, 630円
三菱UF J インド債券オープン (毎月決算型)	39, 351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11, 276, 260円
マネーボールファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	9, 898, 381円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	8, 107, 178円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン A コース (為替ヘッジなし)	10, 766, 608円
ビムコ・エマーゼィング・ボンド・オープン B コース (為替ヘッジあり)	21, 620, 196円
三菱UF J バランス・イノベーション (債券重視型)	365, 273, 064円
三菱UF J / AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11, 293, 333円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6, 324, 266円
三菱UF J Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3, 063, 931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1, 375, 824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1, 071, 396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491, 015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	918, 198円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	138, 468円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10, 804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10, 804円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UF J 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UF J バランス・イノベーション (株式抑制型)	3, 276, 286, 700円
三菱UF J DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	42, 678, 508円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	255, 538, 832円
三菱UF J グローバル好利回りCBファンド2013-09 (円ヘッジ) (限定追加型)	196, 405, 776円
合計	5, 462, 308, 836円

【お 知 ら せ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定めるため（分散型に分類）、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行うための、所要の約款変更を行いました。

(2016年3月16日)